

令和4年度（2022年度）行政評価シート【個表】

令和 4 年 6 月 6 日

評価対象事業		評価者	スポーツ課	石渡 千賀子
健福-54	学校体育施設開放事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課	スポーツ課
		<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	スポーツ・レクリエーション	施策の方針	スポーツ・レクリエーションの推進

1 事業の目的

対象	市民等
意図	地域の学校体育施設を開放することで、身近なところで気軽に楽しめるスポーツ・レクリエーションを振興するため
効果	市民のスポーツ・レクリエーションの推進を図る

2 令和3年度(2021年度)に実施した事業の概要

・新型コロナウイルスの感染拡大防止対策を講じ、学校や学校体育施設開放運営協議会、利用団体と連携を図りながら、地域に身近な学校の体育館・校庭、学校プールを開放し、身近なところでスポーツ・レクリエーションを楽しめる環境を提供した。

3 事業を構成する事務事業(最小事業)実績

枝番号	事務事業	実施した主な事業 (主な経費等)	指標(単位)	令和3年度		令和4年度	達成度
				指標(実績値/目標値) 事業費(決算/当初)(千円)	指標(目標値) 予算額(千円)	指標(目標値) 予算額(千円)	
01	体育館・校庭開放事業	夜間照明等修繕料 保守点検業務・協議会 業務委託料	利用人数(人)	230,410 / 350,000 1,658 / 2,022	350,000 2,834	65.9%	
02	プール開放事業	一般開放監視等業務 委託料	利用人数(人)	11,765 / 30,000 28,860 / 25,154	12,000 25,476	39.3%	
03	一般事務経費	消耗品・材料費・手数料	—	— / — 1,689 / 628	— 559		
04				/			
05				/			
06				/			
07				/			
08				/			
09				/			
10				/			
		財源 内訳	国県支出金	/			
			地方債	/			
			その他特定財源	1,458 / 450	450		
			一般財源	30,749 / 27,354	28,419		
			事業費の合計(千円)	32,207 / 27,804	28,869		
		人件費(千円)		12,031	12,179		

4 この事業に関わる職員数(毎年度4月1日時点)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
正規職員等	1.5	1.5	1.5			
会計年度任用職員	0.5	0.5	0.5			

## 5 評価結果

### (1) 最小事業評価

枝番号	事務事業	指標分析の推移、目標未達の理由	上位施策にどう寄与したか、構成する事業としての妥当性	事業実施上の課題、改善点
01	体育館・校庭開放事業	新型コロナウイルス感染拡大の影響で、スポーツ団体の活動自粛や活動中止があったため。	地域の学校体育施設を開放することで、スポーツ・レクリエーションの振興に寄与した。	校庭の夜間照明設備について、劣化が進んでいる照明器具をLEDへ更新を行う必要がある。新型コロナウイルス感染拡大防止対策を行い、学校開放を行っていることから、利用者人数が制限されるなど課題が残る。
02	プール開放事業	新型コロナウイルス感染対策として、人数制限を行い実施したため。	地域の学校体育施設を開放することで、スポーツ・レクリエーションの振興に寄与した。	新型コロナウイルス感染対策として、ガイドラインに則り事業を実施したが、定員制で先着順としたことから、順番待ちの人の熱中症対策を講じる必要が生じた。
03	一般事務経費	事業推進に対する経費のため指標に適さない。	—	—
04	0			
05	0			
06	0			
07	0			
08	0			
09	0			
10	0			

### (2) 視点別評価

効率性	事業費の削減余地はないか	1 事業費の削減余地はない
	事業の外部化(民営化・業務委託等)はできないか	1 実施済み
	関連・類似する事業の統合はできないか	2 統合に向けて検討できる事業がある
妥当性	各事業の実施に対する市民ニーズはあるか	1 市民ニーズは変わらずにある
	民間によるサービスで代替できる事業はないか	3 民間によるサービスで代替できる事業はない
有効性	事業の上位施策に向けた貢献度はどうか	1 目的達成のために適切な手段(最小事業)である
公平性	受益者負担は公正・公平か	△.負担未導入 △-1 今後、負担の導入を検討すべき事業がある
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	○.協働実施済 △-1 市民等と協働して事業を実施しているが、協働のあり方等の見直しが必要な事業がある
		協働実施済の場合のパートナー 学校体育施設開放運営協議会

### (3) 総合評価 ※最小事業評価を踏まえて、今年度以降の取組方針等を記載する

【今後の方針】	<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 改善・変更	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 休止・廃止
<p>今後も地域の学校体育施設を開放することで、身近なところでスポーツ・レクリエーションを楽しめる環境を提供していく。                      学校開放プールについては、新型コロナウイルス感染防止対策を行いながら、人数制限を行ったうえで開場する。</p>					

**【参考】**

**◎事業実施に係る主な指標**

指標(単位)	学校体育施設開放利用者数(プール以外)						単位	人
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
市民スポーツの振興を図るため	目標値	350,000.0	350,000.0					
	実績値	135,014.0	230,410.0					
	達成率	38.5%	65.8%					

指標(単位)	学校体育施設開放利用者数(プール利用)						単位	人
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
市民スポーツの振興を図るため	目標値	30,000.0	30,000.0					
	実績値	0.0	11,765.0					
	達成率	0.0%	39.2%					

**◎他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)**

比較事項								
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	逗子市	三浦市
他市実績	25校	54校	19校	43校	36校	73校	8校	11校

当該事業実施に伴う 他市比較に関する考え方	すべての市立小中学校の協力を得て、他市と同様に市民に身近な場所でスポーツの場(校庭及び体育館)を提供することができている。また、夏休み期間中には10か所のプールにおいて、他市に比べても多くの日数の開放を行っていることから、引き続き実施していく。
--------------------------	--